

美浦村との ホット情報交換 (その10)

横越町では、昨年十一月一日をもって町制が施行され「横越町」として新たな歴史的なスタートをされましたが、今月の情報交換コーナーでは、昨年、全

村民のみなさんの意向を知り 反映させるためアンケート調査実施

昨年度に「村を町に変更するため」の県条例の規制緩和があり、本村もその要件を更に充足することになっていることや、この規制緩和にともない、近隣の数ヶ村が町制へ移行したことから、村内では、「村から町になるのだろうか」「いつから町になるのだろうか」「美浦は村のままの方がよい」という話題

村のイメージが良いが 五十二・二パーセント

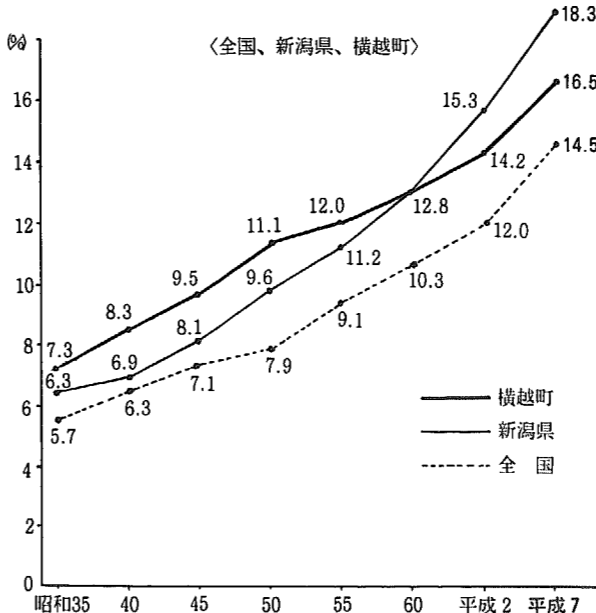
アンケートは、区長さんのご協力を得て、全世帯を対象に実施され、回収率は七十七％でした。
結果は、
① 今までどおり村が良い 五十二・二％
② 町とするのが良い 四十五・五％
無回答 二・三％
であり、①の理由には、イメージとひびきを大事にしたい、美浦村という名前が好きだから、昔からなじんでいるなどの意見

が多く寄せられました。また、②の理由としては、将来の発展のため有利である等の意見が数多く寄せられました。そして、木原・安中・大谷の地区別(学区別)における集計や、中学三年生へのアンケート結果もそれぞれ、『今までどおり村が良い』『町とするのが良い』を上回っていました。
このようなことから、当面、美浦村の名称のもと、自然環境を生かしつつ、住み良い、文化に育まれた村づくりを推進していきます。

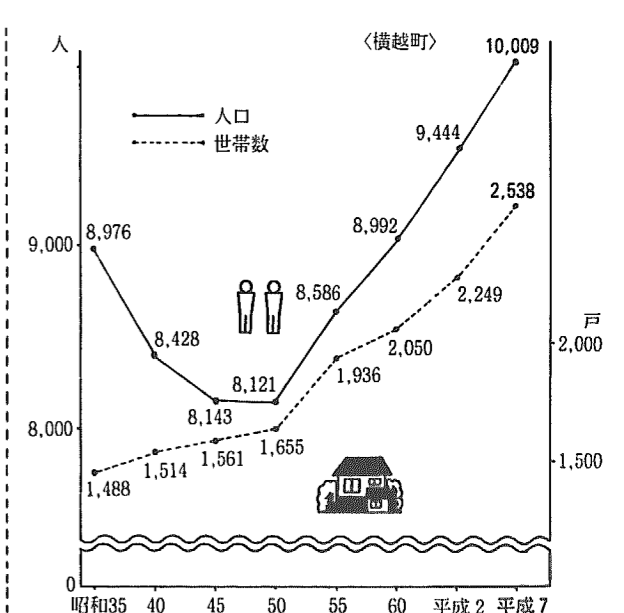
国勢調査結果の お知らせ

皆様より御協力いただいた平成七年国勢調査の確定値が公表されましたので、お知らせします。

総人口に占める65歳以上人口の割合の推移

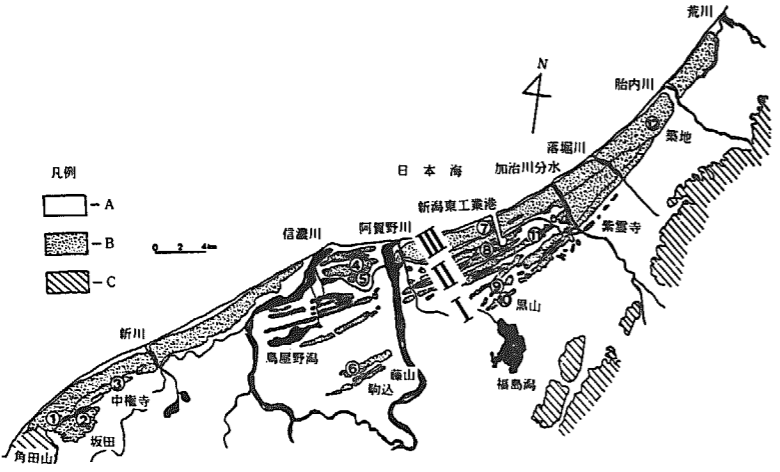


人口と世帯数の推移



ふる里物語 町史編さんだより ②9

藤山・駒込の砂丘地の形成



I: 新砂丘Ⅰの砂丘列, II: 新砂丘Ⅱの砂丘列, III: 新砂丘Ⅲの砂丘列
A: 沖積面, B: 砂丘, C: 段丘, 丘陵, 山地
「新潟砂丘の区分と分布(新潟古砂丘グループ1975年)より転載」

藤山・駒込地区を含む新潟砂丘は、海岸線から内陸へ十キロメートルにおよぶ十列の砂丘列を構成しており、海岸線に沿って西浦原郡巻町の角田山麓から村上市の三面川河口まで約百キロメートルに達しています。砂丘の地形、腐植層(植物の遺体

が積もった層)の発達と種類、人類遺跡からの遺物をもとに、新潟砂丘は新砂丘Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの三つのグループに分類されています(上図参照)。
これらの砂丘は、越後平野の中央部では列状に分布しますが、周辺部では各列が重なり合っており、一列に集合しており、その上下関係から新潟砂丘は明らかに新砂丘Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの順に形成されていったことが分かっています。
砂丘は河川によって運ばれた砂が風によって移動して堆積したもので、海岸の近くに形成されることから、昔は海が藤山・駒込地区のすぐ近くまで迫っていたことが想像されます。その後徐々に海岸線が後退すると同時に河川の氾濫等により粘土質の堆積物が運ばれ、現在のような姿になったと考えられます。
ところで、一体これらの砂丘はいつごろ生まれたのでしょうか。
砂丘の形成された時期を特定する最も有効な手段は、人類遺跡との関係を検討していく作業にあります。最も内陸に位置し、最も古い新砂丘Ⅰは、細かく分けるとさらに四つの砂丘列に分できますが、中でも最も古い砂丘には縄文時代前期初頭(約六千年前)の遺跡が存在し、この頃から新潟砂丘がつくられて

いったことを雄弁に物語っています。藤山・駒込地区の砂丘は現在までに確認されている遺跡から新砂丘Ⅰの中で二番目に古い砂丘で、縄文時代前期末(中期初頭(約五千年前))には誕生していたと考えられますが、越後平野が約一万年前から徐々に沈んできている事実から、最も古い砂丘が藤山・駒込地区よりも内陸に埋没している可能性もあり、今後の発見が期待されています。またボーリング調査によると、現在は地上五〜十メートルの高さの砂丘でも、地下二十メートル前後の深さまで砂丘が埋没していることが分かっています。藤山・駒込の砂丘も約五千年前の縄文人の目には、地上二十数メートルの高さの巨大な砂丘に映ったことでしょう。
新砂丘Ⅰの次に形成された新砂丘Ⅱは、縄文時代晩期(約三千年前)頃に現われ、新砂丘Ⅲは古代(中世(約千年前))に成長し始めたことが遺跡から分かっています。おもしろいことに、新潟東港建設に伴って新砂丘Ⅲの下部約二十数メートルの深さで室町時代の遺跡が発見されていることから、小杉の松韻寺が創建されたと伝えられる鎌倉時代初期の元久元年(一一二〇)当時には、新潟市海岸部の高さ三十メートルもの偉容を誇る大砂丘はほとんど存在しなかったと推定されます。
(自然担当 矢島 正道)

平成9年度 陶芸教室会員募集

- ▶ 申込期限 3月15日(土)
- ▶ 経 費 会費及び実費負担
- ▶ 申 込 先 老人福祉センター
(☎385-4321)まで
- ▶ 注 意 点 性別、年齢等特に制限はありませんが、町内在住者に限ります。

《横越陶友会》(代表 三原利春)